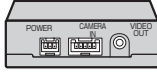
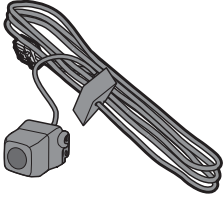


Panasonic[®]

取扱説明書

リヤビューカメラ



✳ Strada

品 番

CY-RC51KD

ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

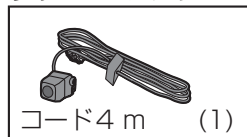
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

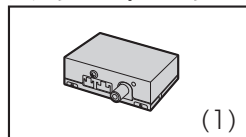
内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

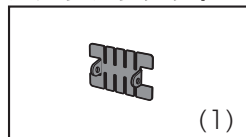
レビューカメラ



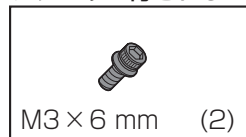
カメラコントローラー



カメラブラケット



ワッシャー付きねじ



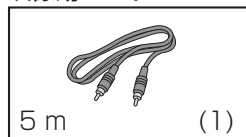
六角レンチ



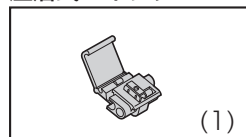
電源コード



映像用コード



圧着式コネクター



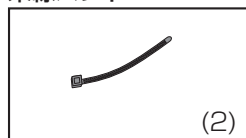
コードクランパー



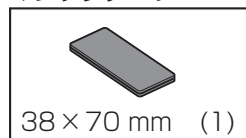
コードレール



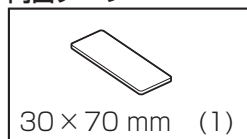
束線バンド



マジックテープ



両面テープ

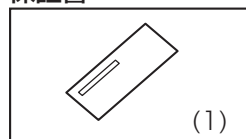


■添付品

取扱説明書（本書）



保証書



使用上のお願い

定期的に取り付状態を点検してください

- ねじのゆるみや、ブラケットがはがれていないことを確認してください。
- コードを車内へ引き込んでいる箇所の防水ゴムがゴムパッキンに平行にあたっていることを確認してください。

太陽光を直接長時間撮像しないでください

- 焼き付け現象が残ることがあります。

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わないでください

- 画面ノイズや誤作動の原因になる場合があります。
携帯電話や無線機は、本機から離してご使用になることをお勧めします。

免責事項について

- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により故障および損傷が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本製品の保証書は、当該製品を業務用の車両（バス・トラック・タクシー・商用車など）に使用した場合、適用対象になりません。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷などを負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告

配線・取り付けに関するご注意

DC12 V \ominus アース車で使用する



本機はDC12 V \ominus アース車専用です。DC24 V車（大型トラック、寒冷地仕様のディーゼル車など）には使用できません。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は、必ずバッテリーの \ominus 端子をはずす



バッテリーの \ominus 端子をつないだまま配線・取り付け作業をすると、ショート事故による感電やけがの原因になります。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す



ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル・足などに巻き付かないように引き回し、まとめたり固定しておくなどしてください。事故やけがの原因になります。

取り付け・アース配線などに保安部品を絶対に使わない



車の保安部品（ステアリング、ブレーキ系統やタンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

注意

配線・取り付けに関するご注意

コードを破損しない



傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱器具へ近づける、車の高温部に接触させるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、事故の原因になることがあります。

- 車体やねじ・可動部（シートレールなど）へ挟み込まないように、引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

レビューカメラのコードに傷をつけない



傷の部分からコードを通してカメラ内部に湿気や水が吸い込まれ、火災や感電、故障の原因になることがあります。

レビューカメラのコードは、水が浸入しないように車内へ引き込む



雨や洗車などの水が車内に浸水すると、火災や感電の原因になることがあります。

配線・取り付け/取りはずしは、専門技術者に依頼する



配線・取り付け/取りはずしには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

必ず付属品や指定の部品を使用する



指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。

はずれたり・落下しないようにしっかり取り付ける



取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなり、走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になります。ときどき接着や取り付けの状態（ねじがゆるんでいないかなど）を点検してください。

指定に従って配線・取り付けをする



説明書に従って正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する



車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因になります。

分解・修理、および改造をしない



分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、事故の原因になります。

分解禁止

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない



あやまって、飲み込む恐れがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

ご使用に関するご注意

必ず目視による安全確認をしながらゆっくり後退する



カメラの映像は実際の距離と感覚が異なります。また、映し出す範囲には限界があります。画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながらゆっくり後退してください。人や物にぶつかり、事故の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する

また、交換は専門技術者に依頼する



規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。

故障や異常な状態のまま使用しない



万一、故障（画像が映らない、音が出ないなど）や異常（異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど）が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。

そのまま使用を続けると、火災や感電、事故の原因になります。

ご使用に関するご注意

車載用以外には使用しない



車載用以外 (例えばレジャーボートやアウトドアなど) に使用すると、発煙・発火・感電やけが、故障の原因になることがあります。

自動洗車機 (高圧水) による洗車をしない



カメラ内部に水が入ると、火災や感電、故障の原因になります。また、脱落して事故やけがの原因になります。

ご使用の前に

バックする際は、必ず目視で後方を確認してください。

- 本製品は鏡像タイプの(バックミラーやサイドミラーと同様に映す)後方確認用カメラです。
- 本製品はドライバーの後方視界を補助するためのもので、全ての危険および障害物をカメラで映し出せるものではありません。
- 本製品は広角レンズを使用しておりますので、近いところは広く、遠いところは狭く映り、実際の距離感とは異なる場合があります。

本製品はRCAタイプの映像入力付きのモニターなどに接続可能です。シフトレバーをリバース(R)に入れたときの連動機能(カメラ映像の割込み表示)とスケール表示は、接続する機器側での対応となりますので、動作の保証はいたしかねます。ご了承ください。

故障かな!?

症状

カメラ映像が映らない

- 設定や各コードの接続をご確認ください。
- 本機、または接続した機器のヒューズが切れている。
→ お買い上げの販売店にご相談ください。

映像が不鮮明

- カメラに泥やほこりがついていませんか?
→ レンズの汚れを拭いてください。

画面に白線(光の縦線)が出る

- 太陽光を直接映したり、強い光(バンパーからの反射やヘッドライトなど)が入射した場合、光源の上下に明るい縦線が現れることがあります。(スミア現象)
→ 故障ではありません。

画面がちらつく

- 蛍光灯などで照らされた場所を映した場合、画面がちらつくことがあります。(フリッカー現象)
→ 故障ではありません。

画面が見えにくい

- 暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラが高温のとき、画面が見えにくくなる場合があります。
→ 故障ではありません。

- 太字の項目の確認には、専門の技術と経験が必要です。安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機のお手入れ

- アルコール・ベンジン・シンナー・ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。変形や変質、破損の原因になります。
- 磨き粉などが配合された洗剤で拭かないでください。キズの原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布などで軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。

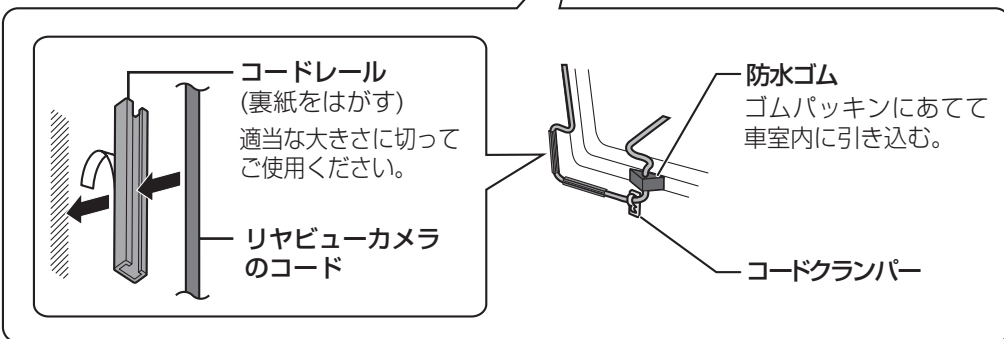
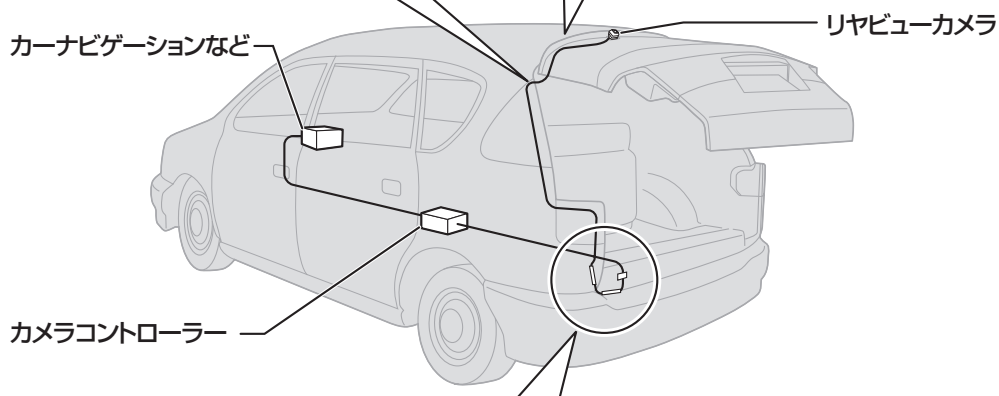
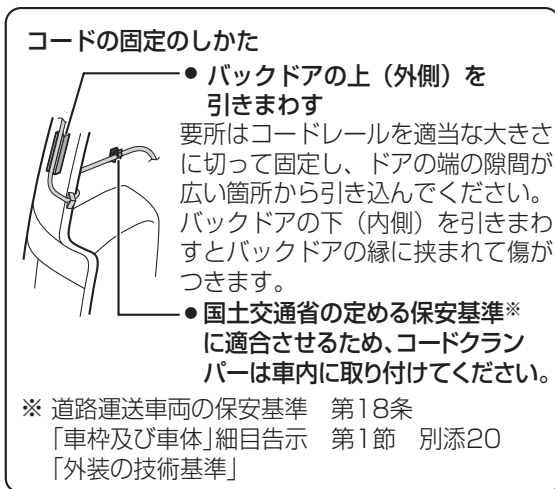
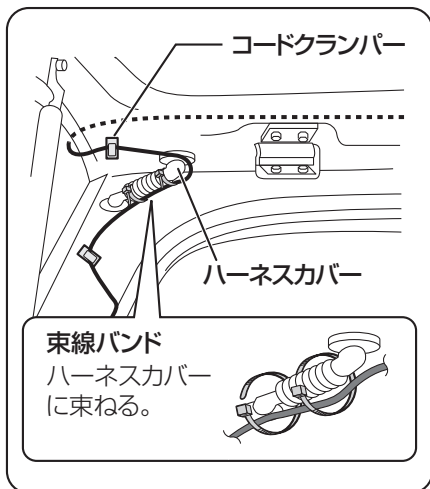


使用しない

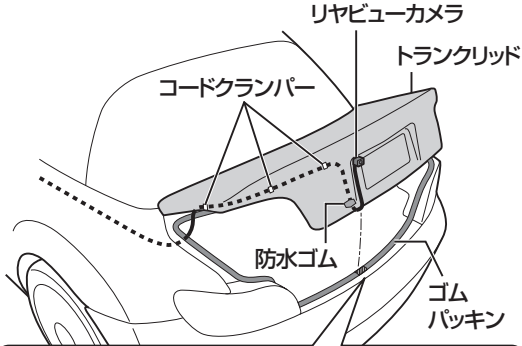
コードの引き回し(例)

- 雨水などが浸入しないようにカメラのコードを引き込んでください。
- ドアの開閉でコードが引っぱられないように、コードを余分にたるませて引き回してください。

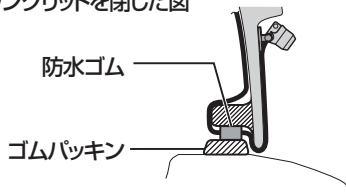
1BOXタイプ



セダンタイプ



トランクリッドを閉じた図



防水ゴムはトランクリッドを閉じたときにゴムパッキンに平行にあたる場所に取り付けてください。

お願い

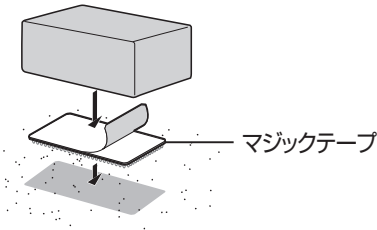
- バックドアやトランクリッドをゆっくり開閉し、カメラのコードがバックドアの縁に挟まれて、こすれていないか十分に確認してください。傷の部分からカメラ内部に湿気や水が吸い込まれて故障の原因となります。
- カメラのコードはアンテナコードからできるだけ離し、引き回してください。(テレビ、ラジオの音声に雑音が入ることがあります。)
- AMラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスからカメラのコードを離してください。

カメラコントローラーの取り付けかた

取り付ける前に 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭きとってください。

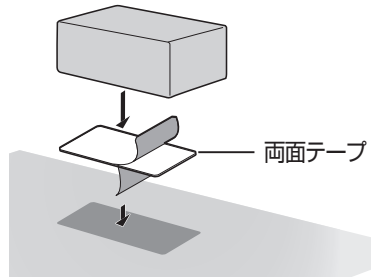
カーペットなどに設置する場合

カメラコントローラー



固い面(床など)に設置する場合

カメラコントローラー



お願い

以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。

- 水のかかるところ
- 足で踏まれるところ
- ほこりの多いところ
- ヒーターのダクトや発熱する物の近く
- 直射日光のあたるところ
- カーペットの下など熱がこもるところ

リビューカメラの取り付けかた

取り付ける前に 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭きとってください。

あらかじめ仮接続・仮止めて、取り付ける位置を決めてください。貼りなおすと粘着力が低下します。

- 取り付ける位置により、使用するねじ穴と調整できる角度が異なります。角度調整して、必要な範囲が見えることを確認してください。(貼りなおしできません)
- カメラが車体やリヤワイパーにあたらないように取り付けてください。

■しっかりと取り付けるために

- 雨天時は野外で作業を行わないでください。
- 気温が低いときは、車内ヒーター、デフォッガー、ドライヤーなどで接着面を温めてください。
- 湿気をドライヤーなどで十分に乾かしてください。設置面に汚れや水気があると粘着力が低下して、はがれる恐れがあります。
- 取り付けたあと、24時間以内は雨にぬらしたり、水をかけたり、引っ張ったり、無理な力を加えたりしないでください。

お知らせ

- フッ素樹脂処理された(水滴や泥水などをはじく)塗装面やガラス面、再塗装された面には貼り付けられません。
- キャップを外したままの使用は、国土交通省の定める保安基準※に抵触する場合があります。キャップを付けて使用してください。

① カメラブラケットを車体のガラス面または塗装面に取り付ける。

- ① 取り付ける面に合うように、カメラブラケットを整形する。(裏紙をはがさない)
- ② 裏紙をはがして、カメラブラケットをしっかりと密着させる。

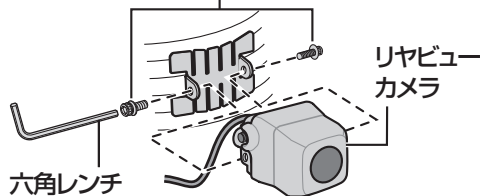


② カメラ本体を、カメラブラケットに取り付ける。

カメラを取り付ける位置により使用するねじ穴と調整できる角度が異なります。

ねじ穴を変更しない場合

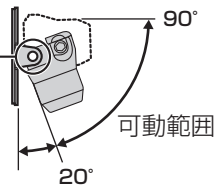
ブラケットにねじで固定する。
ワッシャー付きねじ



側面図

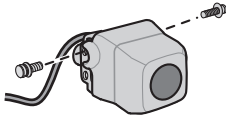
進行方向

カメラの下側になるねじ穴へ取り付けてください。

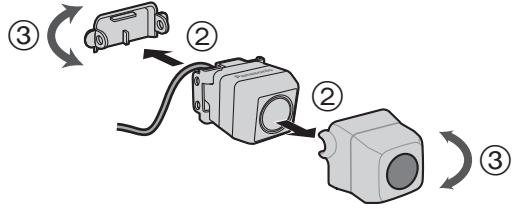


ねじ穴を変更する場合

① キャップ固定ねじをはずす。

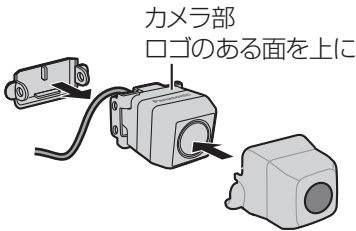


② 背面カバーとキャップをはずす。

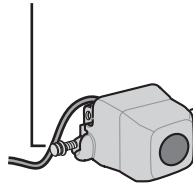


③ 背面カバーとキャップの上下向きを変える。

④ キャップをカメラ部にかぶせ、背面カバーと合わせる。



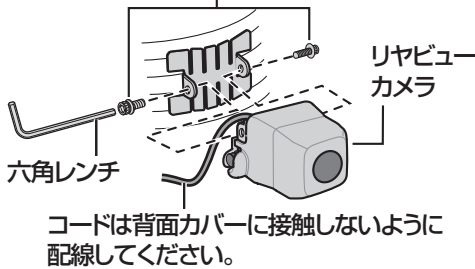
⑤ キャップ固定ねじをつける。



ねじ穴の位置を間違えないようにしてください。

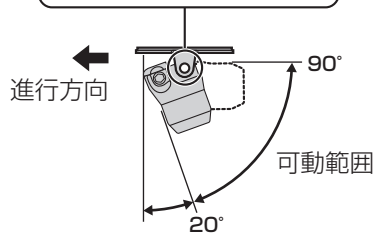
⑥ ブラケットにねじで固定する。

ワッシャー付きねじ



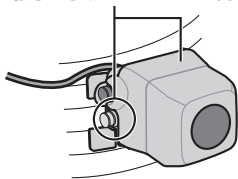
側面図

進行方向とは反対側になるねじ穴へ取り付けてください。



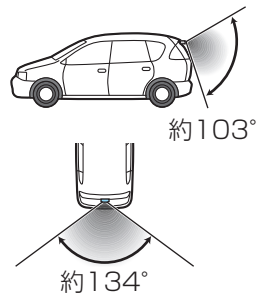
③ バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に映るように、カメラの角度を調整する。

六角レンチでねじをゆるめて、カメラの角度を調整する。
(調整後、しっかりと締める)



バンパーまたは
車両後端部

カメラの視野範囲



配線のしかた

配線が終了したら、必ずカメラの設定を行って

パナソニック製カーナビゲーションなどとの接続により、シフトレバーをリバースに(R)に入れたとき連動して、カメラからの映像を自動的に画面に表示できます。

- 接続する機器側の説明書に従って配線し、設定・操作してください。
- 車種や組み合わせる機器によって、別売のコードが必要な場合や接続できない場合があります。
お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。
- 他社製品との接続に関しては、お使いの機器メーカーの相談窓口にお問い合わせください。

配線・取り付けの作業時には、
安全のため必ず手袋を使用してください。

■作業の順序

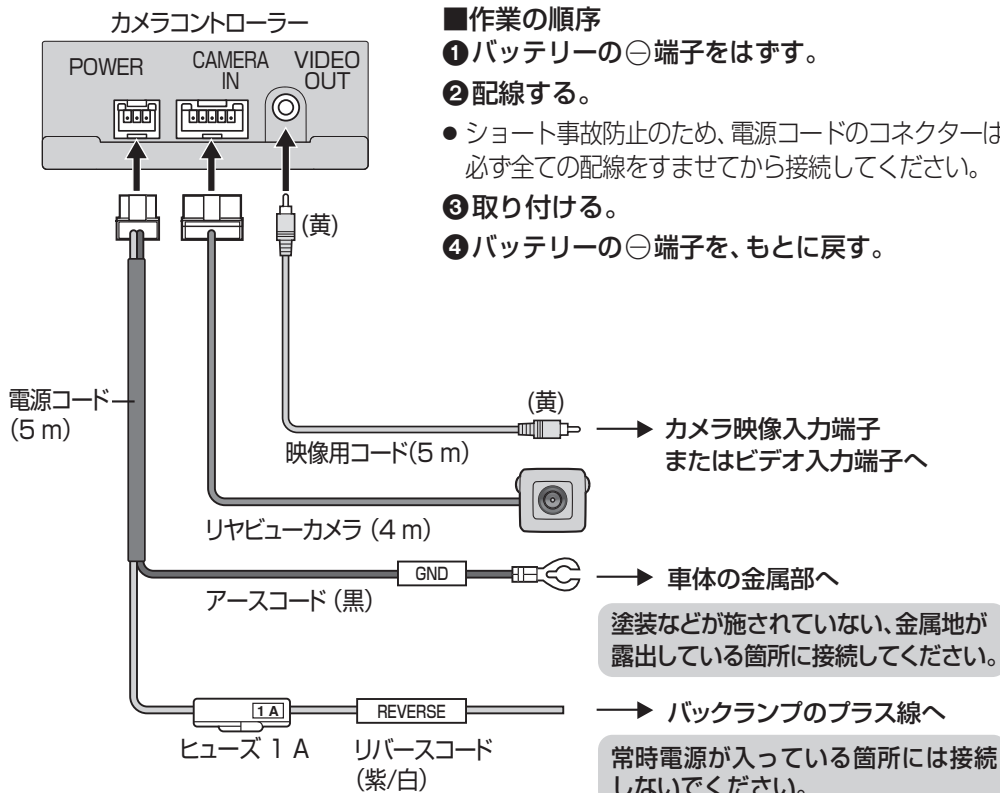
① バッテリーの⊖端子をはずす。

② 配線する。

- ショート事故防止のため、電源コードのコネクターは、必ず全ての配線をすませてから接続してください。

③ 取り付ける。

④ バッテリーの⊖端子を、もとに戻す。



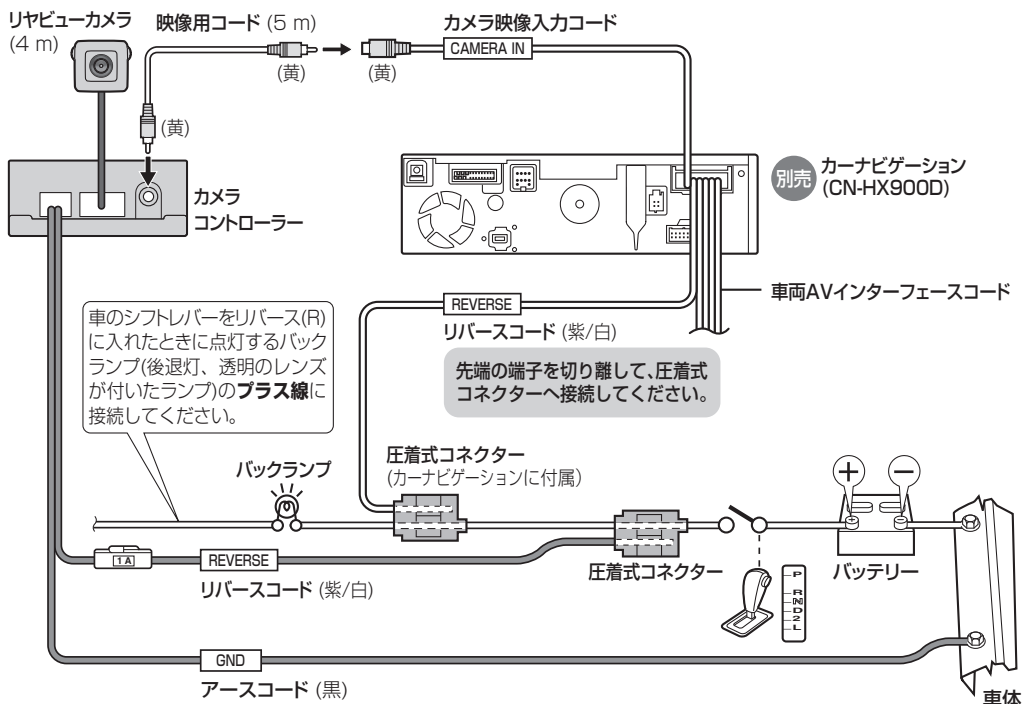
お願い

- コネクターは確実に差し込んでください。また、着脱時にはコードを引っばらないでください。
- 映像用コードやカメラのコードは延長しないでください。画面にノイズが出たり故障の原因となります。
- 圧着式コネクターは、指定の箇所以外に使用しないでください。

ださい。詳しくは、接続する機器の説明書をご覧ください。

別売 カーナビゲーションとの接続 (例:CN-HX900D)

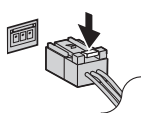
必ずカメラの設定を行ってください。
(別売 カーナビゲーション取扱説明書)



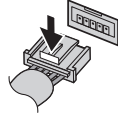
■ ロック付きコードの取りはずしかた

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。

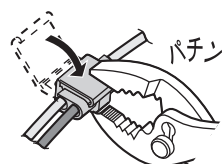
電源コード



リヤビューカメラのコード



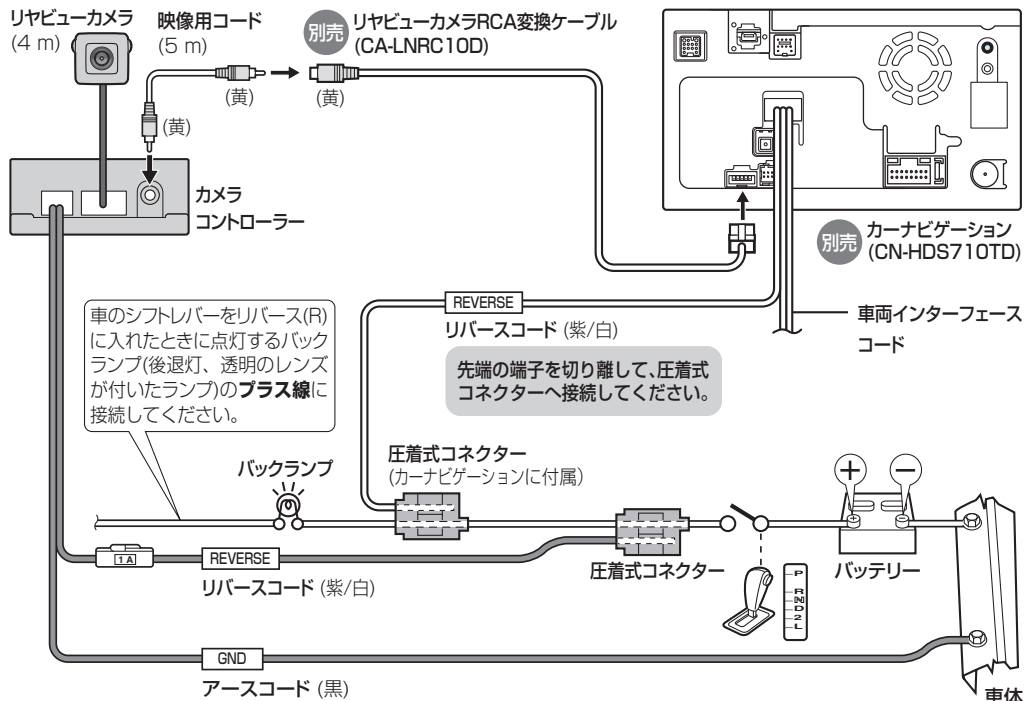
■ 圧着式コネクタの取り付けかた



別売 カーナビゲーションとの接続 (例:CN-HDS710TD)

必ずカメラの設定を行ってください。
(別売 カーナビゲーション取扱説明書)

別売のリビューカメラRCA変換ケーブル
[CA-LNRC10D (コード長 1 m)]が必要です。



お知らせ

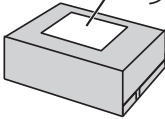
- リビューカメラRCA変換ケーブルが別途必要な機種は、下記のとおりです。
(2009年6月現在)
- ・CN-HDS710TD ・CN-HDS700TD/D ・CN-HDS635TD/D
- ・CN-HDS630D ・CN-HDS625TD/D ・CN-HDS620D

仕様

出力映像	広角鏡像(後方確認用)	
使用電源	DC12V マイナスアース	
消費電力	0.9 W(約 70 mA)	
撮像素子	カラー CCD 固体素子 1/4 インチ	
有効画素数	約 25 万画素	
レンズ	広角 焦点距離 $f=1.94 \text{ mm}$ F 値 1: 2.8	
画角	水平: 134° 垂直: 103°	
S / N 比	46 dB 以上 (推奨照度にて)	
水平解像度	330 TV 本 (中心部)	
照度範囲	約 $1.5 \text{ lx} \sim 100 \text{ 000 lx}$	
映像出力	1 Vp-p (75 Ω)	
外形寸法	カメラ	横 42 mm × 高さ 25 mm × 奥行き 32 mm (コード長 4 m、背面突出部を除く)
	コントローラー	横 76 mm × 高さ 27 mm × 奥行き 40 mm
質量	カメラ	約 95 g (コードを含む)
	コントローラー	約 110 g

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書のイラストや画面はイメージであり、実際と異なる場合があります。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です)

お買い上げ日	年 月 日	品番	CY-RC51KD
販売店名	☎ () -		
製造番号 (Serial No.)	()		 シール カメラコントローラー (天面)

※製造番号は、保証書にも記載されています

パナソニック株式会社
オートモーティブシステムズ社

〒 224-8520 横浜市都筑区池辺町 4261 番地

© Panasonic Corporation 2009

YGFM286222A PMX0509-1069